まえばし「たすケル⇔たすカル」

コロナ禍における

地域の支え合い活動事例集

WITH CORONA

生活支援体制整備事業

まえばし「たすケル⇔たすカル」
「たのしい」でつながる街づくり

はじめに

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における支え合い活動や介護予防活動が困難になっている状況が続いています。しかし、そのようななかでも感染防止対策を行いながら、地域のためにいまできることを考え、実践している地区や町があります。また、今後はオンラインを活用した新たな取り組みが求められ、インターネット環境の充実などハード面における整備も必要となります。

今回の事例集では、コロナ禍においても工夫を凝らしながら活動を進めている地区や町の取り組みをまとめました。担い手の方々の活動継続に向けての励みにしていただくとともに、新たな担い手の確保や今後の取り組みへのヒントにつながるよう、多くの方に活用していただければ幸いです。

このような活動が起点となり、町社協設立へ発展していくことが期待されます。市社協が実施している「町社協設立モデル事業」を発端に、「町の社会福祉協議会」として住民主体の活動が市内全域に拡大し、定着するよう推進していきます。

生活支援体制整備事業

（高齢者の生活を支援するための体制を整えて備える事業）

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために
介護予防と生活支援（支え合い）の仕組みが必要

介護予防

自身による健康の維持、増進(自助)

生活支援（支え合い）

ご近所を中心とした支え合いの
まちづくり(互助)

町社協の取り組みが広がっています
「できる人が」「できることを」「できる時に」

町社協設立モデル事業

町社協とは町を単位として、自主的・主体的に、交流・見守り・支え合い活動を継続して実践することにより、地域の課題を解決し地域福祉の推進を図る組織です。
市社協では令和2年度から「町社協設立モデル事業」を始め、市社協職員による立ち上げの支援と併せて助成金の交付を行っています。

地区社協助成事業

地区社協とは、その地域内の住民が主体となって、地区や町の福祉課題の解決や住みよいまちづくりの実現に向けて、活動を推進している組織です。共同募金をはじめとする福祉のための資金の活用により、公共性を持つと同時に自主性のある活動を進めています。
市社協では共同募金を原資として、地区の社会福祉協議会に毎年助成を行っています。

コロナワクチン接種における支え合い活動

1. 平和町一・二丁目（敷島地区）……2
2. 下川町（下川淵地区）……2
3. 上泉町（桂萱地区）……2
4. 北代田町（南橘地区）……3
5. 駒形町（永明地区）……3
6. 西大室町（城南地区）……3
7. 皆沢（富士見地区）……4

介護予防活動

1. 幸せの黄色いベンチ（桂萱地区）……5
2. ピンシャン元気ひろば：大利根町シルバークラブ（大利根町）……6
3. いきいきチャレンジウォーク(大胡地区)……7
4. 富士見ふらっとウォーキング(富士見地区)……8

with corona

コロナワクチン接種における支え合い活動

コロナ禍で広がる支え合いの動きを紹介します。

前橋市においても、5月から65歳以上の高齢者の新型コロナワクチン接種の予約受付が始まりました。電話予約は混雑が予想されたため、インターネット予約が推奨されましたが、普段、パソコン・スマートフォン・タブレットを使い慣れていない高齢者にとってはこの予約は難しいものでした。

そこで、高齢者を支援しようと各町では様々なかたちで予約の支援が行われました。

今回の支援においては、インターネット環境という物理的な資源も必要となりましたが、各町ではそれぞれ工夫をしながら多くの高齢者を支えていただきました。

紙面の都合上、すべての町の取り組みを掲載することはできませんが、市内において、多くの町でこのような支え合いの輪が広がっています。

平和町1・二丁目(敷島地区)

地域の郵便局、NPO法人と連携

1. 実施主体/平和町一丁目・二丁目自治会
2. 支援者/自治会役員、老人会役員、民生児童委員、保健推進員、町内有志ボランティア・平和郵便局・NPO法人
3. 対象者/自分で予約ができない方(身内に支援してくれる人がいない・予約会場まで自力で行くことができない)
4. 周知方法/個別に声かけ

地区社協や市社協地区担当と連携し、それぞれの自治会が2日ずつ支援を実施しました。平和郵便局も主体的に支援に参加し、郵便局裏の店舗駐車場を活用して屋外会場をつくり、対象を町内に限らず予約支援をおこないました。

下川町(下川淵地区)

町の公民館と個別訪問での重層支援

1. 実施主体/下川町自治会
2. 支援者/自治会役員、民生児童委員
3. 対象者/予約ができない方、支援が必要な方
4. 周知方法/回覧版、個別に声かけ

自治会役員と民生児童委員が協力し、公民館まで来られない方には訪問し対応しました。また、2回目の予約が取れなかった方には8月以降の予約が可能になり次第、個別に対応する予定です。

上泉町(桂萱地区)

自治会館の広さを活用して、4つの窓口を設置

1. 実施主体/上泉町自治会
2. 支援者/自治会役員、民生児童委員、長寿会
3. 対象者/ネット環境がない方、支援が必要な方
4. 周知方法/長寿会からの声かけ

窓口を4か所設け、市の貸与タブレット2台、自前のスマホ2台で対応しました。午前10時から12時までの2時間、検温や十分な距離の確保など感染対策をしつつ、連日にわたり予約のサポートを積極的に行いました。

北代田町(南橘地区)

インターネット環境を活かして町の公民館にてサポート

1. 実施主体/北代田町自治会
2. 支援者/自治会役員
3. 対象者/ひとり暮らし高齢者
4. 周知方法/民生児童委員、町楽会(老人会)、防犯委員に声かけを依頼

町の公民館にインターネット環境が整っていたため、スムーズに支援につながりました。関係団体と連携して支援の必要な方に周知を図りました。独自の確認用紙を用意するほか、完了画面の写しを渡して受付内容を忘れないような対策も心がけました。

駒形町(永明地区)

会議所常駐の自治会役員と民生児童委員の連携により、毎日支援

1. 実施主体/駒形町自治会
2. 支援者/自治会役員、民生児童委員
3. 対象者/支援が必要な方
4. 周知方法/民生委員が個別に声かけ

駒形会議所には自治会役員が常駐しています。今回、市からタブレットの貸与を受け、自治会役員と民生児童委員が協力し、予約開始日から連日にわたり必要な人へ支援を実施しました。予約を終えた高齢者からは「本当に助かった。安心してお願いできました。」との声が寄せられました。

西大室町(城南地区)

町の公民館に整備されていたインターネット環境をフル活用

1. 実施主体/西大室町見守りネットワーク
2. 支援者/西大室町見守りネットワーク
3. 対象者/予約ができない方
4. 周知方法/チラシを全戸配布

町の公民館にはインターネット環境が既に整備されていました。これを活かし「コロナワクチン予約お助けセンター」の開設を決め、チラシを全戸配布し周知しました。期日を決めて予約の支援を実施しました。

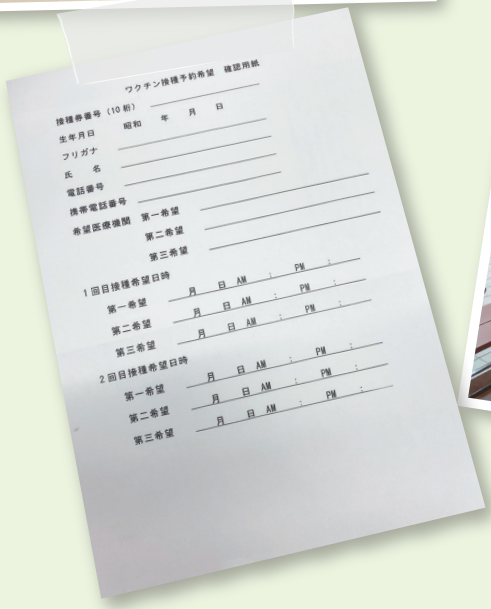
※令和２年度町社協設立モデル事業の指定を受けて活動を進めています。

皆沢(富士見地区)

長寿会が主体となって、会員へ支援

1. 実施主体/皆沢地区長寿会
2. 支援者/長寿会、自治会長、民生児童委員、パソコンに慣れた方
3. 対象者/長寿会員で、予約が難しい方
4. 周知方法/長寿会役員が、長寿会員のもとへ訪問

周知をしたのち、日にちを決めて、皆沢集落センターにて予約支援を行いました。きっと電話もつながりにくく、ネットで予約することが難しい方もいるだろうとの思いから支援に至りました。



SASAEAI KAIGAYA

かいがや幸せのベンチ実行委員会

桂萱地区

幸せのベンチdeスタンプラリー

景品のオリジナルエコバッグ

HAPPY BENCH

詳しい情報はこちらから

高齢者を中心に全世代対象のスタンプラリー !!
令和３年３月 20 日〜3 月 27 日開催しました。

桂萱地区を中心に主に高齢者の移動の中継地点や集いの場として設置を進めている「幸せのベンチ」。江木駅からとりせんローズタウン店をつなぐルートの15台のベンチを対象にスタンプラリーを開催しました。事前に地域で配布したチラシにベンチに貼ってあるキーワードを５つ以上記入して、とりせんローズタウン店か地域包括支援センター桂萱に持参するとオリジナルエコバックを進呈する企画。181人、高齢者を中心に小学生まで幅広い世代の参加がありました。「コロナ禍で外出するきっかけがなく引きこもりがちだったが、散歩がてら気軽に参加できた」と高齢の方から連絡をいただくなど評価していただきました。新しい日常をつくるためにも制限の中でもできるイベントを今後も開催していきます。

SASAEAI

OTONE

大利根町シルバークラブ

大利根町

ピンシャン元気ひろば

誰でも参加 OK! 公園でラジオ体操やウォーキング

新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や交流の機会が制限される日々が続いています。そんな中、感染リスクを極力抑えた屋外での集まりや、少人数・短時間での交流・運動の機会を応援する制度として、令和3年度から介護予防サポーターを担い手とする「ピンシャン 元気ひろば」の取組が新たに始まりました。

その登録第1号となる「大利根町シルバークラブ」は、もともと老人クラブとして公民館を中心に活動していましたが、コロナ禍での地域の皆さんの健康づくりを目的として、令和2年10月から屋外での活動を開始しました。毎週月曜日に大利根中央公園に集まり、ラジオ体操とウォーキングをしています。公園内を歩く人もいれば、サイクリングロードなどのウォーキングコースを1時間以上歩く人もいて、ご自身の体力に合わせてコースを選べます。最初は公園まで歩いてくるのが精一杯だったけれど、回を重ねるうちに公園を5周も歩けるようになった方も。思うようにおしゃべりができなくても、集まる機会があることがお互いの励みになっています。

実施主体は老人クラブと介護予防サポーターですが、参加はどなたでも大歓迎。この活動への参加がきっかけでシルバークラブの会員も増えたとのこと。相乗効果で地域の活動の輪が広がっています。

SASAEAI

OGO

大胡地区社会福祉協議会

大胡地区

チャレンジウォーキング

ZOOMでピンシャン元気体操

写真deお花見ウォーキング

65 歳以上を対象に、ウオーキングやオンラインでの体操

チャレンジウォーキングでは、それぞれの地域の史跡など9カ所を巡って、クイズに答える形式で行いました。

参加された方からは、「コロナでなかなか出かけられない中で、友達と一緒に楽しく歩くことができた」「大胡に住んでいるけど、歴史的な建物や場所がたくさんあることに改めて知ることができて勉強になった」「夢中になって17,000歩歩いた」などの声がありました。

お花見ウォーキングでは、地区の桜の名所にウォーキングをし、桜と一緒の写真を撮り、ひとりひとりメッセージを書いてもらました。

参加された方からは、「花見をしたり、おしゃべりしたり、久しぶりに外のいい空気をたくさん吸ったよ」「おまけにクオカードまでもらっちゃって、ほんとに春から嬉しいことが始まったよ」という声がありました。

参加者にエコバッグをプレゼントしました！

SASAEAI

FUJIMI

富士見地区社会福祉協議会

富士見地区

富士見ふらっとウォーキング

巡回バスのバス停を利用した周遊型ウォーキングイベント

コロナ禍で長引く外出自粛による運動不足解消と外出機会を設けるため、3月中旬から4月中旬にかけて開催しました。

ふじみ老人福祉センター巡回バスのバス停(84カ所)にキーワードを設置し、バス停を巡って集めたキーワードの数に応じて景品をお渡ししました。

参加された方からは、「いい運動になった」「バス停が意外なところにあると分かった」「子どもにつられて歩いてみたが楽しかった(親子で参加)」などの声がありました。

小学生から高齢者まで幅広い年代の方の参加を得ることができました。

前橋市 生活支援体制整備事業

コロナ禍における 地域の支え合い活動事例集

発　　行　　日：令和３年６月14日
発　　行：前橋市福祉部長寿包括ケア課地域包括ケア推進係
前橋市社会福祉協議会
前橋市地域包括支援センター

問い合わせ先：前橋市福祉部長寿包括ケア課地域包括ケア推進係
前橋市大手町二丁目12番1号
TEL:027-898-6276(直通)
FAX:027-223-4400